



# 幸せってなんだろう

GHANA

西村 茂樹

鳥取県鳥取市立福部中学校

- ◆実践教科 学活
- ◆時間数 5時間
- ◆対象学年 1年
- ◆対象人数 30人

## カリキュラム

### ■実践の目的

- ・ アフリカに対するイメージを、ガーナを通して再構築させる
- ・ 自分の目で見えてきたガーナの様子や、出会った人々の思いを伝える
- ・ 日本の国際協力の現状について知り、国際協力に関心を持つ

### ■授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容	使用教材
1時限目 テーマ：アフリカを知る ねらい：アフリカにはどんな国があり、 どういう特徴があるか知る	ブレインストーミングの手法で、できるだけ多くの意見を出し、グループで特徴などについて考えさせる	音楽CD 世界地図 写真
2時限目 テーマ：ガーナを知る ねらい：ガーナの位置、首都、人口、 産業などについて知る	・ 一日の暮らしの紹介 ・ カカオ(児童労働)について ・ 村と町の学校の様子の違い ・ 経済的格差について	世界地図 国旗 写真
3時限目 テーマ：固定観念、偏見の仕組みに 気づく	フォトランゲージで固定観念、偏見の仕組みに気づく ※公開授業(指導案)参照	写真
4時限目 テーマ：ガーナで働く日本人 ねらい：日本の支援活動を知り、働く 意義について考える	青年海外協力隊の願いをビデオレターを通して考えさせる	ビデオ 写真
5時限目 テーマ：私たちに何ができるか ねらい：自分が国際貢献できること を考える	自分が国際貢献できることについて考え、 世界の中の日本人としての誇りをもつ	ワークシート

### ここが素晴らしい!

「ガーナはこんな国だよ」ではなく、「自分が見たガーナはこうだったけど、でもそれがガーナの全てじゃないよ」と、自分が見たガーナを伝えたところが良かった。授業の目的が日本の国際貢献に絞られていて、わかりやすかった。

- ・ 子どもたちの生活の様子、学校の様子を知り、生活習慣や文化に違いがあってもよいことを知る。
- ・ 世界には青年海外協力隊のように活躍している日本人がいることを知り、彼らの思いや願いに触れ、これからの国際化社会に貢献できる意欲を持つ

## 授業の詳細

### 1 時限目 アフリカを知る

アフリカについて知っていることを、各グループでブレインストーミングしてみた。飢餓で死ん

でいく人がたくさんいる、広い草原に野生の動物がたくさんいる、貧しく不幸な暮らしをしているなどの意見がでた。みんなが同じようなイメージをもっていることがわかった。実際、当たっていることもあるが、違っていることも多いことを伝えた。アジアにしても、日本のような国もあれば、

ベトナムのような国、北朝鮮のような国もあるわけで、先入観でものを捉えては危険であることを話した。

## 2 時限目 ガーナを知る

ガーナの様子を知らせるために、クイズ形式で考えさせた。ガーナのアフリカでの位置、国旗の色の意味、チョコレートなどの特産品、食べ物、村と町の違い、1日の生活の仕方など、3択で班競争させてみた。その後、パワーポイントを利用してガーナの生活・文化について説明した。



ガーナの購入品について語り合う生徒たち



カカオの実がなっているところ

## 3 時限目 固定観念・偏見の仕組みに気づく

参観日の人権学習で、保護者にも参観してもらった。導入では資料「旅人」を用い、先入観を持つことが正しい理解や知識を妨げていることを知らせた。フォトランゲージの手法で、パワーポイントを使い、写真の一部隠してあるところにはどのようなものがあるかを考えさせた。アチュワ村の巡回健康診断の写真では、若い母親たちが集会所に集まっているのを見て、何をしているところか考えさせた。ヒントとして、はかりにつるしている赤ん坊の写真もつけた。正解を発表すると、保護者の間からも「おおっ！」という歓声があがり、解説をすると大きくうなづく姿が見られた。クイ

ズの正解グループもあり、生徒たちは関心を持って授業に取り組めた。同じ要領で、頭にファンヨーゴ（冷凍ヨーグルト）入りの冷蔵庫を乗せて走る少年や、でこぼこのグラウンドで裸足でサッカーをしている写真などについても考えさせた。



巡回健康診断の様子

## 4 時限目 ガーナで働く日本人

ガーナで働く日本人では、青年海外協力隊がガーナで行っている支援について写真を見ながら説明した。アセンマ村でエイズ対策をしている隊員、地域保健総合改善プロジェクトで保健師をしている隊員、聖フランシス・ザビエル病院で薬剤師をしている隊員、アチュア村でパイナップル産業を根付かせた農業普及員、ガーナの高校で理数科教員をしている隊員など、多くの日本人がガーナのために働いていることを知らせ、彼らの願いをビデオで伝えた。



保健師さんへのインタビュー

## 5 時限目 私たちに何ができるか

今までの学習をふまえて、自分ならどういった国際貢献ができるか考えさせた。そして、自分だけが幸せになるのではなく、世界の仲間と共に幸せになることが大切であることを学ばせた。幸せは心の豊かさであることをつかんでくれた。

### 生徒の反応（感想）

- ・固定観念や先入観で人としゃべったりしないほうがいいのか！？と思った。
- ・同じ国の中でも、いろいろと違いがあるのがわかったし、同じ年代の僕たちとすごく違うことを知った。
- ・ガーナにはお金持ちがいないと思っていたが、携帯電話やプール付きの高級ホテルがあることにびっくりした。
- ・ガーナと日本でいろいろなことが違うことを知った。日本が開発途上国に対して援助していかないといけないことがよくわかった。
- ・普段は感じないが、日本は物質的に豊かなことがわかった。だが、だからといって人々がしあわせであるかどうかはわからない。アフリカの子どもたちは貧しくても幸せにしているみたいだ。私もガーナに行ってみたいと思った。

### 所感

1学年30人で1小学校からそのままのメンバーで上がってきた1年生たちは、お互いの人間関係が固定される傾向がある。そこで、新しい自分の発見の機会や挑戦できることなどをこちらが意図的にしくんでいくことが、生徒たちの成長では大切であると日頃から考えている。今回、ガーナについて学習したことで、今まで見えなかった生徒たちの積極的な面や、思いもかけなかった発言を耳にすることができた。興味をもって楽しみながら授業に参加でき、発言内容もけっこう深いものもあり、これからの日本を担っていく生徒たちに期待できそうな気がした。

### 成果と課題

今まで身近でなかったアフリカやガーナについて知らせることができ、国際理解や国際協力の分野に興味・関心を持たせることができた。また、全校対象に行った「生き方セミナー」では、パプアニューギニアで村落開発普及員として活躍された国際協力推進員の花岡潤さんのお話を聞き、さらに日本の国際貢献について学習した。

他学年でも授業を行ってみたいが、英語の時間を使うことになりそうで、授業の構成などさらな

る工夫が求められる。また、これからの進路や生き方を考えるうえで、今回の学習を大事にさせていきたい。



「生き方セミナー」ジャイカ花岡さんのお話

第1学年 人権学習（学級活動）指導案

指導者 西村 茂樹

1. 題材名：固定観念、偏見の仕組みに気づく
2. 本時のねらい
  - ・固定観念、偏見の仕組みに気づくとともに、偏見を持たない態度を養う。
  - ・語り合いを通して、個々それぞれの考え方や見方の違いがあることに気づく。
3. 指導過程

学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	教師の意図及び留意点
<p>1. 資料「旅人」の文の並びかえをする。</p> <p>2. 資料「写真の一部」を見て何をしているところか考える。</p> <p>3. 本時の振り返りとまとめをする。</p>	<div data-bbox="415 523 799 595" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     意味の通じる文脈になるように順序を並び替えてみましょう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車いすの青年と病院を結びつけて考えてしまう。</li> <li>・車いすの青年が旅行者であると考えられる。</li> </ul> <div data-bbox="433 741 779 1000" style="text-align: center;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食料や医薬品の配給待ち。</li> <li>・民族舞踊の出番待ち。</li> </ul> <div data-bbox="415 1089 799 1161" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     下半分を切ってます。ガーナの少年は何をしているのでしょうか。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・船に乗っている。</li> <li>・水をくんでいる。</li> </ul> <div data-bbox="415 1271 799 1342" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ガーナの写真ですが、下半分をきってます。これはどういう状況でしょう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・でこぼこのグラウンド。</li> <li>・ものすごく整備されている。</li> <li>・車いすでサッカーをしている。</li> </ul> <div data-bbox="415 1483 799 1555" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     今日の学習で発見できたこと、感じたことを書きましょう。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の中の先入観を感じさせる。</li> <li>・先入観を持つことが正しい理解や知識を妨げていることを伝える。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・写真の一部から全体の状況を想像し、班の中で意見交換させる。</li> <li>・一人一人が自分の考えを言いあえ、聴き合えるようにさせる。</li> <li>・写真全体を見せることによって、自分や友だちが考えた想像が写真全体に近いものと遠いものがあり、先入観や偏見で見るところもあることに気づかせる。</li> <li>・先入観や固定観念があることで、偏見をもつことにつながり差別を生み出す可能性があることに気づかせる。</li> <li>・固定観念、偏見の仕組みに気づくことができたり、それぞれの考え方や見方の違いがあることに気づくことができているか、発表なども通して確認する。</li> </ul>